

横浜開港150周年 基本計画 発表!

「横浜開港150周年～市政120周年～基本計画」を開港記念日にあわせて、市民の皆様へ向けて発表します。

これは、昨年の「開港150周年～市政120周年～基本ビジョン」もとに、本年1月に公表した「中間とりまとめ」の市民意見募集などを踏まえ、2009年の開港150周年を契機に「チャンスあふれるまち 横浜」の実現を目指していくため、事業の具体化を図ったものです。

横浜開港150周年～市政120周年～基本計画

みなと・まち

①新たな顔づくり、まちづくりプロジェクト

これまで蓄積されていた横浜ならではの歴史的財産を活かしながら、21世紀の新たな横浜の魅力づくりを進めていきます。

《新たな顔づくり・文化芸術創造都市形成事業》

開港発祥の地である象の鼻地区の再整備、ナショナルアートパーク、映像文化都市形成《まちづくり》

マリンタワー再生、羽田空港再国際化、米軍施設返還・跡地利用推進など

ひと

②市民力・地域力発揮プロジェクト (今後市民のみなさんとともに具体化を予定)

子どもから高齢者まで、150周年を記念して、多くの市民が主催するプロジェクト・イベントに対し、積極的に支援していきます。

※市民の手による音楽やアートなど様々なイベントの開催支援や、『150周年の森(仮称)』の整備など

③次世代育成・人材育成プロジェクト

横浜の将来を担う、国際性をもった人材、科学技術の振興や産業界の発展を導く人材を育て、また高齢者の地域での活躍を支援します。

※世界の子どもたちとの国際理解の推進、科学技術高校整備、起業家育成、地域高齢者の活躍支援など

祝祭

④横浜開港“ハッピーバースデー”プロジェクト

横浜の歴史や、先人の業績を知るとともに、「チャンスあふれるまち横浜」の創造に向けて、横浜全体が盛り上がり、内外に発信していけるよう、記念イベントを開催します。

※ 記念式典、記念イベント等の実施

★記念イベントについては市民意見を反映し、ベイクドとヒルサイドとで市域全体が一体の盛り上げを創出

・ベイサイドステージ(臨港部)

パシフィック横浜、大さん橋ホールをメイン会場
港や船をテーマとしたイベント
民間事業者主催のイベントと連携して開催

・ヒルサイドステージ(丘側)

グーラシア(アフリカパナ予定ゾーン)をメイン会場
横浜の自然・環境、市民協働をテーマとしたイベント

なお、イベント内容については、今後の実施計画策定の中で具体化

開港150周年に向けて国際的な発信力を高めていくための都市戦略の取組み

開港以来、海外との交流窓口として発展してきた横浜ならではの歴史を踏まえ、今後もサミット誘致や、横浜の先進的な取り組みを踏まえた国際コンベンション開催を通じて、横浜を世界に発信していきます。

(表面のつづき)

◎今回の基本計画の位置づけについて

「成長・発展」する計画として、今後も記念事業としてふさわしい事業があれば、民間の事業であっても盛り込み、記念事業を更新していく予定です。

◎開港150周年基本計画(案)「中間とりまとめ」での市民意見について

- ・「**7, 510名、22, 198件**」の市民の皆様からの意見をいただきました。
- ・開港150周年記念イベント・ヒルサイドステージなどの企画について参考とさせていただきました。
- ・今後、記念イベントの実施計画策定の検討の中で参考とさせていただきます。